

経営比較分析表（令和元年度決算）

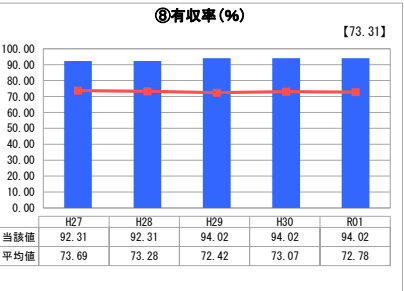
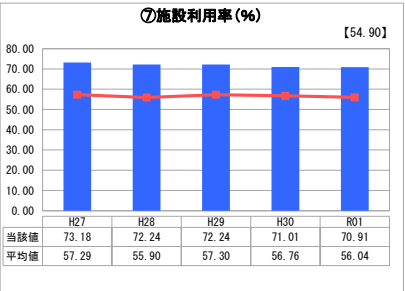
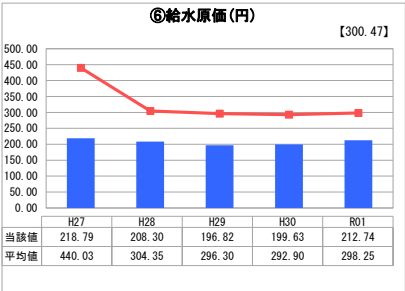
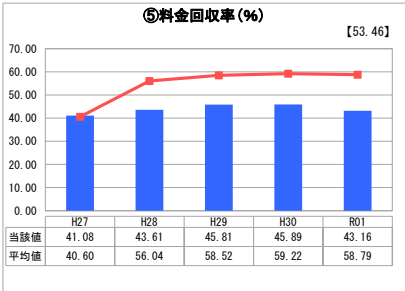
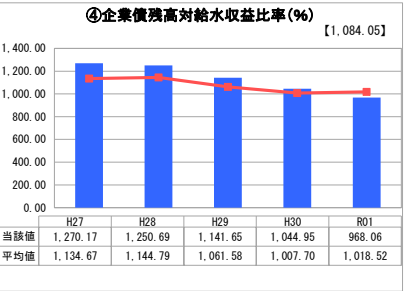
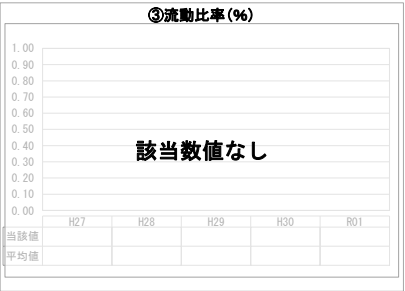
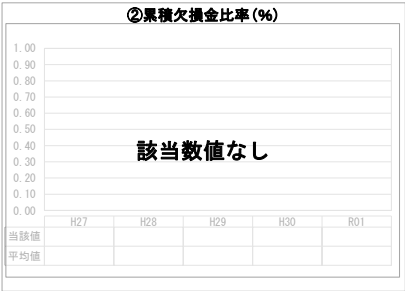
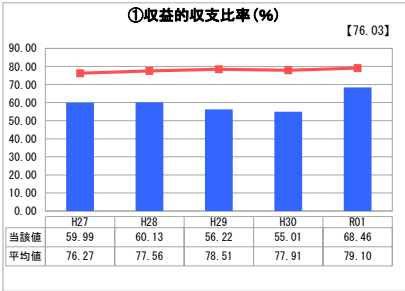
高知県 仁淀川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	60.31	1,600	

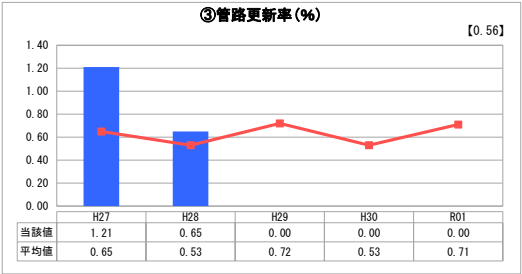
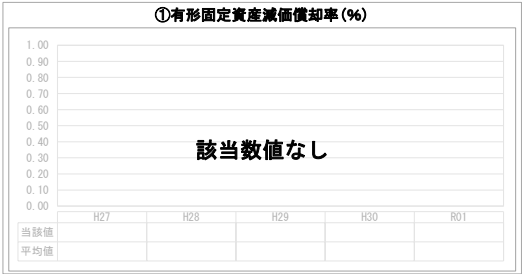
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,224	333.00	15.69
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,124	97.30	32.11

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

《健全性》
収益的収支比率、料金回収率を見ても、給水収益だけでは賄えておらず、一般会計からの繰入金により維持している状態である。
単年度収支が赤字であることから、適正な水道料金の見直しなど経営改善に向けた取り組みが必要である。
《効率性》
今後の施設の耐震化、維持管理費等の投資また将来の給水人口の減少等を踏まえた分析が必要であり検討していかなければならない。

2. 老朽化の状況について

中長期的な更新計画を策定し、施設の更新、耐震化を進める。

全体総括

人口の減少に伴い給水収益の減少は続くと思込まれ、老朽化施設等の計画的な更新や耐震化を進めることで経営状況は厳しくなると思われる。
今後は経営収支の見通しを踏まえ、水道料金を見直し経営の効率化に努める。